

四月四日（水）午後六時開場・六時半開演

（終演八時予定）

会場 伊奈波神社参集殿 三階

※当日会場には駐車場はございません

無料入場

第七回 岐阜祭奉焚貝

岐阜まち歌舞伎

素囃子 御祝儀長唄
雛鶴三番叟

【出演】岐阜町若旦那会有志

舞踊 春霞伊奈波彌栄

【出演】鳳川伎連

歌舞伎「一條大藏譚」

【出演】岐阜町若旦那会

一條大藏長成

八剣勘解由

鬼次郎女房お宗

吉岡鬼次郎

常盤御前

彩多屋喜十郎

亀甲屋隆之進

焙豆屋明右衛門

油屋 佐太次

《特別出演》
旅客屋 十八介

その昔、岐阜祭の宵宮の日は町衆による「にわか芝居」や三味線・囃子の「流し」が夜明けまで演じられました。岐阜町を彩ったそんな風情を少しでも感じられたら……それが「まち歌舞伎」の思いです。



主催：岐阜町若旦那会／事務局 058-263-1463
指導振付：二世 尾上幸松（鳳川伎連 喜久次）

演目『一條大蔵譚』

この『一條大蔵譚』は『鬼一法眼三略巻』の一場面
で、源氏・平家の争いを一條大蔵長成卿を主人
公として描いた人氣の演目です。

井之口茶屋の場

牛若丸(源義経)の母、常盤御前は、平治の
乱で夫・源義朝が討たれた後、我が子を守るため
に敵の平清盛の側室となりましたが、後に清盛の
命で公家の一條大蔵卿に再び嫁がされました。この
一條大蔵卿は有名な阿呆者で、連日連夜、花見
や能狂言に明け暮れ、今日も伊奈波神社へまち
歌舞伎を見物です。そこで出会ったお京を大蔵卿
は気に入る、女狂言師として召し抱えます。

塀外の場

源氏の家臣吉岡鬼次郎は常盤御前に源氏
再興の心があるか確かめようと、実は鬼次郎の妻で
あるお京の手引きで大蔵卿の奥殿へ潜入します。

奥殿の場

大蔵卿に甘え、毎夜毎夜、楊弓(座敷での弓
矢遊び)に興じる常盤御前の墮落ぶりに怒りを覚
えた鬼次郎は、弓で常盤御前を激しく打ち責め
ます。すると常盤御前は怒るどころか「あっぱれ」と
鬼次郎の揺るがぬ忠義を讃えました。鬼次郎を
味方と確信した常盤御前は楊弓三昧の秘密を

明かします。なんと、その的の下から、矢に射貫かれ
た清盛の絵像が現れます。つまり、常盤御前は清
盛調伏の呪いをかけていたのでした。その会話を陰
で聞いていた清盛の家臣八剣勘解由は常盤御前
を捕らえ、清盛へ注進すると現れますが、それを阻
止せんとする鬼次郎と激しい立ち回りとなります。
すると、御簾の中から突如長刀で勘解由は斬
り付けられます。そして、奥より現れたのは普段の
阿呆とは別人の凛とした姿の大蔵卿でした。実は
源氏の血を引く大蔵卿は阿呆のふりをして、平家
全盛の世の中を耐え忍んでいたのです。大蔵卿は
鬼次郎夫婦に古歌と源氏の宝刀「友切丸」を与
え、源氏再興への道を示すと、再び笑って作り阿
呆に立ち返るのでした。

江戸、明治と盛んで
あった伊奈波の歌舞伎興
行や岐阜祭での子供歌
舞伎を源流として、戦前
の宵宮で岐阜町の若旦那
那が街のあちこちで演じた
とされる俄芝居は歌舞
伎のパロディでした。そんな
文化を復活して今に受
け継ぐ「まち歌舞伎」を
どうぞお楽しみ下さい。



「岐阜まち歌舞伎」人情厚く

岐阜市若旦那会が上演
会員の娘も登場
掛け声飛び交う

岐阜市若旦那会が、岐阜市伊奈波地区の若旦那会と提携し、熱心な活動を行っています。今年度は、会員の娘も登場し、掛け声飛び交うなど、人情厚く盛り上げます。

熱心な活動を行っています。今年度は、会員の娘も登場し、掛け声飛び交うなど、人情厚く盛り上げます。

岐阜新聞 二〇一七年四月五日(水) 掲載

【岐阜町若旦那会】※太字は役者です
藤居進一(藤井佛檀)、松枝秀晃(善光寺安乗院)、牧野浩之(長崎屋総本舗)、高橋秀太(高橋製瓦)、
川島徹郎(麩兵)、大平雅章(米角大平米穀店)、古田浩紹(エビス)、金森正親(伊奈波商會)、
寺澤隆浩(亀甲屋本舗)、蒲勇介(ORGAN)、矢島明(YAJIMA COFFEE)、山本慎一郎(山本佐太郎
商店)、住公輔(住工業)、田代達生(十六銀行)、山田知幸(ゆば勇商店)、市川智己(市川葬典)
特別出演…伊藤豊邦(十八楼)

<お問合せ先> 岐阜町若旦那会
担当: 住 090-4850-6470
<協賛受付> この度、岐阜まち歌舞伎を催すにあたりまして、皆様の温かい応援と開催
運営資金のご協力をお願いいたくご案内させていただきます。
担当: 山本 090-1821-1237